

好天日田植えと田植え後の水管理で活着を促進し 早期に良質茎を確保しましょう！

1. 田植え

(1) コシヒカリは、5月10日以降田植えがエコ・5-5 米の要件です。

※令和4年より特認制度が設けられました。申請される場合は、申請期間内【5月1日～5月8日】に申請書の提出をお願いします。詳しくは地区営農担当にご相談ください。

※長岡地区の中山間地直接支払地域は、「5月10日以降田植」要件の対象になりません。

※6月に入っの田植えは十分な生育量が確保できず収量が低下します。減収防止のため5月末までには田植えを終えましょう。

(2) 栽植株数・・・コシヒカリ50株/坪（茎数確保が難しい地域は60株/坪）、こしいぶき等の早生品種、多収性品種は60株以上/坪が目安です。

(3) 植込本数・・・3～4本/株、植付深さは2～3cmとします。（深植え厳禁！）
※多苗植えは茎が細く、根は浅く倒伏しやすくなるので注意しましょう。
※深植えすると、新根や分げつの発生が抑制されるので注意しましょう。

(4) 箱施用剤の施用 <<長岡地区>>

適用害虫名	使用薬剤	使用量	使用方法	使用時期	エコ・5-5 での使用可能品種
イネアオムシ(フタオビコヤガ) イネミスゾウムシ幼虫 イネドロイムシ ニカメイチュウ等	ゼロカウント粒剤	50g/箱 ※高密度播種の場合は1kg/10a (50～100g/箱)	箱上散布	播種時覆土前～移植当日	「わたぼうし」 以外の品種
いもち病等 イネアオムシ(フタオビコヤガ) イネミスゾウムシ イネドロイムシ ニカメイチュウ等	Dr.オリゼ フェルテラ粒剤	50g/箱 ※高密度播種の場合は1kg/10a (50～100g/箱) ※1kg/10a	箱上散布 側条施用	緑化期～移植当日 移植3日前～移植当日 移植時	「わたぼうし」

※J A 育苗センターやJ A 硬化苗受託者から苗を購入した方は、移植前に箱施用剤の散布はしないでください。（箱施用剤散布済みの為）

※側条施用の場合は、専用の機械（側条施薬機）が必要になります。

※箱施用剤施用の際は、育苗ハウスに残留しないよう注意しましょう。

(5) 補植苗・・・圃場にある補植苗は補植作業が終わり次第、すみやかに処分して下さい。
補植苗の放置は、いもち病の発生源となります。

《補植苗の発病状況》



《ずり込み症状》



畦畔から漏水していませんか？

2. 本田初期の水管理

- (1) 保温的水管理・・・田植え後は、苗が活着するまで3～4cmのやや深水とします。
早朝にかん水し、日中は水温を高めて発根・活着を促進しましょう。
- (2) 活着後の水管理 “やや深水管理 ⇄ 浅水管理へ”
①浅水管理（水深2～3cm）により、分げつの発生を促しましょう。
②かん水は早朝に行い、日中は止め水により水温・地温の上昇と生育の均一化を図りましょう。
③低温時や強風時は、深水管理(4～5cm)で苗を保護しましょう。

(3) ワキ、表層剥離対策

5月下旬以降にワキや表層剥離などの発生が多く見られる場合は、夜間落水して、早朝に再びかん水しましょう。アオミドロ・表層剥離発生カ所に“田んぼの鉄人”（エコ・5-5栽培使用可能）をスポット散布すると効果的です。

◎「田んぼの鉄人」散布目安量
全面散布で約15kg/10a



3. エコ・5-5 用水田除草剤（移植水稻）

薬剤名		10a 当使用量	使用時期（農薬登録）
初期剤	※ソルネット 1 キロ粒剤	1kg	①植代後～ 移植前7日まで 、②移植直後～ ルゑ1 葉期まで (但し移植後30日まで)、③移植時
	※エリジャン	乳 剤 300ml ジャンボ 300g	①植代後～ 移植7日前まで 、②移植直後～ ルゑ1 葉期まで （但し移植後30日まで）
一発剤	カウンスル エナジー	1 キロ粒剤 1kg フロアブル 500ml	① 移植時 、②移植直後～ ルゑ 3.5 葉期 （但し、移植後30日まで）
		ジャンボ 400g	① 移植直後～ルゑ 3.5 葉期 （但し、移植後30日まで）

※初期除草剤を使用する場合は、河川への流入防止や環境への配慮から、移植前処理を避けて移植時または移植後に使用するようにしましょう。

※作付品種が前年と変更になる場合、初期剤（ソルネット又はエリジャン）を散布し、前年秋の落下糞による混種を防止しましょう！（特にうるち⇒もちへの変更では必ず実施してください。）

※エコ・5-5 栽培の「わたぼうし」には初期剤は使用できません。

《初期剤・一発剤散布時の注意事項》

★気温が高いと雑草の生育が早くなるので、除草剤の散布時期が遅れないようにしましょう。

粒 剤	水深5cm程度で、散布後3～4日間はそのままに保ち（水を動かさない）、7日間の止水管理 ⇒その後は通常管理
フロアブル ジャンボ	水深6cm程度で、散布後3～4日間はそのままに保ち（水を動かさない）、7日間の止水管理 ⇒その後は通常管理

※ 散布後4日以降に水が切れたら、静かに差し水を行いましょう。

※ エコ・5-5 運動参加圃場では、栽培指針に基づいた施用を行いましょう。

★機械作業後は泥を落としてから道路へ出ましょう！

トラクター等での農作業の際は、田や畑から公道へ出る前に必ず土を落としてから走行するようお願いします。
やむを得ず道路に土を落としてしまった場合は速やかに清掃するなど道路利用者が安全に走行できるよう心がけましょう。ご協力をお願いします。

